



◆◆◆◆ 子どもの盗みとお小遣い ◆◆◆◆

ある母親から、次のような悩み相談のメールが届きました。「小学5年生の男の子が、家にある貯金箱やおばあちゃんの財布から勝手にお金を抜き取ることで悩んでいます。どうしたらよいでしょうか。」

子どもが財布からお金を抜き取ることに気付いて、深刻に悩んでおられる親御さんは、実は結構多いのです。私は、まずその方に次のような質問をしてみました。「お子さんには、いつもどれくらいの間隔で、いくらくらいのお小遣いを与えていますか?」すると、「特にお小遣いは与えていません。ときどき必要に応じた金額をあげるだけです」というお返事でした。

そこで、私は次のようにアドバイスしました。「あなたのお子さんが特別に盗癖のある問題児だとは思いません。今の状況からすると、お子さんは、欲しいものがあったとしても、自分にはお金がないので買うことができないということが、まず第一の問題だと思います。そうすると何か買いたい時には、その都度親に頼むこととなりますが、その時『そんなくだらないものはやめなさい』などと言われる可能性があれば、なかなか口に出すこともできません。私としては、小学5年生なら週に一度、200円程度のお小遣いを渡す約束をしてあげることをお勧めします。子どもは大人と違い、長いスパンで計画を立てたり、長い間我慢したりすることが難しいので、週に一度がちょうど理想的です。また、お小遣いを与える時には、しっかりとルールを伝えてください。もし、また勝手に財布からお金を取ったりしたら、例えば次の2週間はお小遣いをもらえなくなるなどということをして話して聞かせるのです。それから、もう一つ、ただ無条件にお小遣いを与えるのではなく、何か家のお手伝いをさせるように決めることです。」

さて、2ヶ月程たった時、次のようなメールをいただきました。「金子さん、あれ以来、お小遣いを週に200円と決めて、息子は小遣い帳もしっかりつけています。買い物に行っても考えて使っているようで、『あれが欲しいけど我慢する』と言うこともあるんです。それから、時々妹におやつを買ってくれたりもするんです。相談して本当によかったです。」



◆◆◆◆ 感謝の時間 ◆◆◆◆

長引く不況の中で、明るいニュースがあまり伝わってこない今日この頃です。でも先日、ある若いお父さんからとても素敵な話をうかがって、感動させられました。

彼は、「こんな世の中で、私たちはついつい文句を言ったり愚痴をこぼしたりしがちですが、子どもたちが明るく前向きに人生を歩んでいくことができるように、ものごとの悪い面ではなく、むしろ良い面に目を向けさせるようにしているんです」と言われました。私は、「確かにおっしゃる通りですね。でも具体的には、どのようにそれを子どもたちに教えておられますか」と尋ねました。するとニコニコしながらこう答えてくれました。「我が家には4才の娘と2才の息子がいるんですが、私たち家族4人は、土曜の夜、夕食が終わった後で『感謝の時間』を一緒に持つようにしてあります。これを毎日できればいいんですが、私の仕事が忙しくて今のところ土曜の夜だけなんです・・・。」すかさず私は「感謝の時間にはどんなことをするんですか」と尋ねました。すると、「夕食の後で、一人一人が一日を振り返って感謝できることを話します。例えば、娘は『今日はお友達のみゆちゃんと公園で遊びました。楽しかったです』とか、2歳下の子は『今日初めてピーマンが食べれました』とか言うんです。感謝の日には、家族全員が思いつくことをひと通り言い合って、『そうだね、感謝だね!』と幸せをかみしめてから、みんなで甘い物を食べるんです。」



話を聞きながら、私は「自分もまた若いお父さんに戻って、子どもたちと感謝の時間を持ってみたい」と羨ましく思いました。私たちはいま経済的にとても難しい時代に生きていますが、こんな時にも明るく前向きに感謝することを親から教えられて過ごしたら、子どもたちはどんなに幸せなことでしょう。